

脱炭素社会の実現に向けて
グループ CO₂ 排出総量削減 目標

気候変動による深刻な影響を抑えるためには、気温上昇を産業革命前に比べ 2℃未満に抑える必要があるとされています。更には、2℃から更に踏み込み 1.5℃以内とする努力が求められております。

当社グループにおいては、地球温暖化・気候変動を重要な経営課題の一つとして認識し、脱炭素社会の実現に向けてグループ全体の CO₂ 削減目標を策定しました。事業活動を通じて、脱炭素社会だけでなく、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

CO₂ 排出削減 目標
 2013 年度比で CO₂ 排出の総量※を
2030 年までに 30%削減

	2013 年度	2030 年度目標	
		2013 年度比削減	
IT インフラ流通事業	2.4	1.6	▲34%
繊維事業	132.9	92.7	▲30%
産業機械事業	6.3	4.4	▲30%
ダイワボウホールディングス単体	0.05	0.03	▲40%
グループ計	141.7	98.7	▲30%

(千 t-CO₂)

※ Scope1・Scope2 の合計量を削減

範囲：ダイワボウ情報システム株式会社(連結)、大和紡績株式会社(連結:国内)、
 株式会社オーエム製作所(連結:国内)

(参考) 当社グループの主な CO₂ 排出要因

Scope1：工場など製造段階での燃料燃焼による直接排出

Scope2：他社から供給された電気の使用による間接排出

マテリアリティ	
E (環境)：地球環境保護の推進	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>8 働きがいも 経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> </div>
事業活動における環境負荷の低減	